2　地理歴史・公民

| 学校番号 | １００９ |
|---|---|

# 令和３年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新詳　世界史Ｂ　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代につながる歴史的事象から、現代の諸課題の背景を知る。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・中国や東南アジアなど現代の諸地域の学習をもとに、これからの日本人のあり方を考える。

2　学習の到達目標

・教科書等の文字資料、地図、映像・写真資料などから、歴史的思考力を培う。
・中国を中心とする東アジア・東南アジア世界の拡大と発展について、現代の世界情勢との関係のなかで考察することができる。
・現代世界の学習をもとに、これからの日本人としてあり方を考えることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性と現代世界の特質、現在の世界の諸課題について主体的に追究している。 | 世界史を、時間的・空間的なつながりに着目して考察している。諸地域の政治や文化などさまざまな世界の諸事象を捉え、広い視野から公正に判断している。 | 地図や年表といった世界史についての諸資料を、公正かつ適切に取捨選択して活用している。 | 世界史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や現代世界とも関連付けながら、理解し、その基本的知識を身につけている。 |
| 評価方法 | 出席状況<br>宿題等の提出状況 | 定期考査<br>授業レポート<br>ノート | 定期考査<br>授業発言の記録<br>ノート | 定期考査 |
| | 〔主題学習〕<br>振り返りシート | 〔主題学習〕<br>レポート | 〔主題学習〕<br>レポート | 〔主題学習〕<br>内容のまとまり |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4～9月 | 1部　諸地域世界の形成と交流 | 5章東アジア世界のあけぼの<br>・中華文明の形成<br>・秦漢帝国と東アジア | ○<br>◎ | ○ | ○<br>○ | ◎<br>◎ | a:東アジア世界における多様な文明の発生と、古代日本の関連を意欲的に追究している。<br>b:古代文明の成立期における諸思想の発展と変容を歴史的背景から考察・表現できる。<br>c:南北の農耕地域の交流や、周辺地域との関係をまとめることができる。<br>d:中国における統一王朝の成立にいたるまでの政治・文化・思想を総合的に理解できる。 | 出席状況<br>定期考査<br>ノートなど提出物 |
| | | 6章中央ユーラシア世界の形成と展開<br>・中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現<br>・古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動 | ○ | ○<br>○ | ◎<br>○ | ○ | a:中国など、東・東南・南アジアが多様性に富むことに興味を持ち、追究している。<br>b:中国など、東・東南アジア・南アジアの多様性を、民族・風土・宗教などの視点をふまえつつ総合的に考察している。<br>c:各種資料から諸王朝の変遷や他地域との交流、社会構造を読み取ることができる。<br>d:東・東南アジア・南アジアが、その風土と位置関係から、相互にその影響を受けつつ独自の世界を築いたことを理解している。 | 出席状況<br>定期考査<br>ノートなど提出物 |
| | | 7章東アジア世界の変動と再編<br>・ユーラシアの変動と東アジア世界<br>・東アジア諸地域の成長と自立 | ○<br>◎ | ◎<br>○ | ○ | ◎<br>◎ | a:遊牧民の活動と中華王朝の変遷との関連に関心をもち追究している。<br>b:遊牧民の活動と中華王朝の変遷が関連していることを考察し表現できる。<br>c:地図を用いて遊牧民の果たした東西交易の重要性とその役割を把握できる。<br>d:魏晋南北朝から宋までの中華王朝と遊牧民の活動を関連付けて理解できる。中華王朝と周辺諸国の関連を理解できる。 | 出席状況<br>定期考査<br>ノートなど提出物 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2部　海洋による世界の一体化 | 1章アジア諸地域の栄華と成熟<br>・明の国際秩序と東・東南アジア<br>・世界帝国清とアジア諸国の成熟 | ○<br>◎ | ○ | ◎<br>○ | ○<br>◎ | a:東アジアにおける明・清を中核とした国際関係に関心をもち、追究している。<br>b:多民族国家であり、世界帝国であった清の外交や内政のあり方を考察し、表現できる。<br>c:地図などの各種資料を活用して、各地における特色と相違点を指摘できる。<br>d:明・清を中核としたアジア諸国間の国際関係と、ヨーロッパ人のアジア進出について理解している。 | 出席状況<br>定期考査<br>ノートなど提出物 |
| 10月～2月 | 3部　地球社会形成の模索 | 1章世界の一体化の完成とその影響<br>・帝国主義と世界分割競争<br>・アジア知識人による体制改革の試み<br>2章世界大戦の時代<br>・第一次世界大戦と社会主義革命<br>・第一次世界大戦とアジアナショナリズムの展開<br>・大衆社会の到来とファシズムの出現<br>・第二次世界大戦とその惨禍<br>3章東西冷戦から多極的国際社会へ<br>・アメリカの覇権と冷戦の展開<br>・多極化の始まり<br>・米ソ二極時代の終焉<br>4章相互依存を深める世界<br>・社会主義圏の解体と国際秩序の変容<br>・グローバル化の動きと世界の変化 | ○<br>◎ | ○<br>○<br>○<br>◎ | ○<br>○<br>◎<br>○ | ◎<br>◎ | a:帝国主義という考え方や、総力戦による戦争とその惨禍、反省から生まれた新しい社会という動きに興味が持てる。<br>b:植民地支配＝文明化という思想を批判的に捉え、また欧米諸国の進出が各地のナショナリズムと対立を生み出したことを考察でき、表現できる。<br>c:近現代の画期となった事件について、地図や写真、映像などの資料を活用して、因果関係を指摘できる。<br>d:アジア・アフリカの植民地化とその独立にいたる過程を理解し、平和を模索する国際社会における事件や出来事を理解している。 | 出席状況<br>定期考査<br>ワークシート<br>ノートなど提出物 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎や〇を付けている。